

2011年6月1日発行

Vol.56

ろ ん ど

長崎県音楽連盟事務局

〒850-0056 長崎市恵美須町4-5

NBC第3ビル2F

Tel.&Fax095-820-1081

ホームページアドレス <http://www.n-rond.jp>メールアドレス nma@onyx.dti.ne.jp

10周年を迎えた時津町カナリーホールの田中昭彦副館長

歌いつづけるカナリア

今年開館10周年を迎える時津町カナリーホールができる時、当時の担当者は「本格的なクラシック音楽が演奏できる、専用ホールが時津町にできます。音響もかなりいいホールです。」と嬉しそうに話していたことを思い出します。あれから、10年。カナリーホールは着実に自主文化事業を実施してきました。15年前は人口約2万7千人だった時津町は、現在では人口が3万人。長崎県全体の人口が減少する中で、これはかなり特異なことでしょう。とはいえ、人口3万人の小さな町が、客席数770人の音楽専用ホールを持ち、しかも毎年1500万規模の自主文化事業を継続しているのは、県内他の市町と比較しても、特筆すべきことです。

この10年間の取り組みの中で特に注目したいのが、時津町内の小学生から中学生まで全員が、年に1回はカナリーホールに出かけ音楽鑑賞ができる教育プログラム「カナリー・ステージナイン」です。実は、全国的にも評価の高いこの企画を立ち上げたのが、現カナリーホール副館長である田中昭彦さんです。ステージナイン当日、学校からバスや徒歩で集まってくる子どもたち。それを駐

車場に出て、目を細くしてうれしそうに迎える田中さんの表情は、子どもたちに本物の音楽を伝えているという自負と深い愛情が感じられます。

その田中さん。ご本人は不服でしょうが、某音楽連盟の運営委員長と似ているようで、たまに弟に間違われるそうです。性格は似ていないと思いますが、ピアノが大好きという共通項があります。ホールで取りあげる自主事業の演目は、基本的に自分が聴きに行って納得したものでないと、取りあげません。特に、ピアノに関しては、一家言お持ちで、ご本人もピアノをたしなみ、めったに披露しません。イベントの打ち上げでは坂本龍一を8小節くらいだけ演奏することがあります。人には言えない苦労の連続でしょうが、取りあげる音楽の質の維持と観客のニーズを的確に把握すること、これこそが文化ホール担当者の最大のミッションでしょう。10周年を迎えたカナリーホールと共に、文化担当のプロとしてのさらなる活躍と、ピアノ演奏が16小節に伸びることを祈っています。(文/堀内伊吹)